

【 16 】 2026 年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース (英文名)</p>	<p>代謝・内分泌内科学 (Metabolism and Endocrinology)</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>曾根 正勝</p>
<p>研究 ・ 教育 の 概 略</p>	<p>1) 糖尿病およびその合併症に対する臨床研究 現在、各種血糖降下薬が2型糖尿病患者の代謝・体組成・筋力におよぼす影響の解析、FLASH GLUCOSE MONITORING (FGM)を用いた糖濃度の連続モニタリングによる血糖コントロール改善、マルチ周波数体組成計(MC-190)を用いた妊娠糖尿病におけるインスリン抵抗性と筋肉量との関連性についての検討、などを行っている。</p> <p>2) 糖尿病性ケトアシドーシスの診断と治療の適正化の試み 糖尿病性ケトアシドーシスについて、現在推奨されているインスリンや補液の投与量は海外でのデータを参考にしたものであり、当院で加療した糖尿病ケトアシドーシスの症例のデータを用いて日本人における治療の適正化を検討している。また、呼気中のアセトン濃度を簡便に、迅速に定量化できる Fat-burning Monitor (FM-001)を用いて糖尿病患者さんの血中ケトン体濃度と呼気アセトン濃度との相関性の評価とケトアシドーシスの診断への応用を行っている。</p> <p>3) 内分泌疾患の観察研究 副腎腫瘍のより効果的な診断法を確立するため、クッシング症候群/サブクリニカルクッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫/パラガングリオーマ、などの患者データを用いた後ろ向きの解析研究を行っている。</p> <p>4) 内分泌疾患の多施設共同研究 2022 年より研究代表施設として全国 31 施設共同での「疾患レジストリを活用した原発性アルドステロン症の診療の質向上に資するエビデンス構築(JPAS-II)」研究を開始し、原発性アルドステロン症の次期ガイドライン改定に向けたエビデンスの構築を開始している。また、国際医療センターを中心とした難治性副腎疾患(副腎癌、褐色細胞腫、クッシング症候群など)の多施設共同研究(ACPA-J 研究)に参加しており、その解析を行っている。</p> <p>5) ヒト iPS 細胞を用いた代謝・内分泌疾患の病態解析 当教室では患者さんから樹立した疾患 iPS 細胞を用いた代謝・内分泌疾患の病態解析を開始しており、現在、ミトコンドリア糖尿病疾患 iPS 細胞を用いた代謝異常の病態解析研究を行っている。</p> <p>大学院生は、上記の研究のいずれかに参画し、研究の手法・データ解析・論文作成の手法などについて学習し、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する。</p>
<p>研究 項 目</p>	<p>1. 糖尿病およびその合併症に対する介入研究 2. 糖尿病およびその合併症における観察研究 3. 糖尿病性ケトアシドーシスの診断と治療の適正化の試み 4. 内分泌疾患の観察研究 5. 内分泌疾患の多施設共同研究 6. ヒト iPS 細胞を用いた代謝・内分泌疾患の病態解析</p>
<p>準備 学習(予習・復習)</p>	<p>・事前に参考資料を良く読んでおくこと。 ・配付資料の内容を確認しておくこと。</p>

2026 年度講義シラバス（1）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床代謝学 I		必修/選択	必修	
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	2単位（前期1、後期1）	履修年次	1年		
テーマと目的	血糖調節機構について理解を深める。				
講義計画	糖尿病症例を通して病態を検討し、血糖調節機構の障害と治療を説明する。				
達成目標	1. 基本的な血糖代謝メカニズムを論理的に説明できる。 2. 糖尿病の確定診断に必要な基準を理解する。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床代謝学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	膵内分泌組織総論:形態学		1	肝臓における糖代謝 (1)	
2	栄養学総論		2	肝臓における糖代謝 (2)	
3	膵β細胞の機能 (1)		3	肝臓における糖代謝 (3)	
4	膵β細胞の機能 (2)		4	骨格筋における糖代謝 (1)	
5	血糖調節の生理学総論		5	骨格筋における糖代謝 (2)	
6	インスリンの生合成		6	脂肪組織における糖代謝 (1)	
7	インスリン分泌機序 (1)		7	脂肪組織における糖代謝 (2)	
8	インスリン分泌機序 (2)		8	肥満・IGT とインスリン分泌	
9	インスリン分泌の調節		9	糖尿病総論 (1): 病態生理	
10	インスリンの作用		10	糖尿病総論 (2): 診断・検査	
11	β細胞機能の定量的測定法		11	糖尿病総論 (3): 治療	
12	インスリン抵抗性・感受性・分泌能		12	Metabolic syndrome	
13	インスリン分泌促進・抑制因子		13	糖尿病関連の最新のトピックス	
14	グルコースホメオスターシス		14	後期のまとめ (1)	
15	ホルモンとグルコース代謝		15	後期のまとめ (2)	

2026 年度講義シラバス (2)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	臨床代謝学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	糖尿病の最新の知識と臨床的アプローチについて学ぶ。			
講義計画	糖尿病症例を通して病態を理解し、診断・治療法を検討する。			
達成目標	1. 糖尿病について病態を論理的に説明できる。 2. 糖尿病について病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床代謝学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	糖代謝総論	1	慢性合併症各論:細小血管障害	
2	脂質代謝・リポ蛋白代謝総論	2	慢性合併症各論:大血管障害	
3	糖尿病の概念	3	低血糖総論	
4	糖尿病における糖脂質代謝	4	糖尿病の治療:食事療法	
5	糖尿病の診断・病型分類	5	糖尿病の治療:運動療法	
6	二次性糖尿病・遺伝子関連	6	治療:薬物療法・経口薬 (1)	
7	糖尿病と妊娠	7	治療:薬物療法・経口薬 (2)	
8	インスリン分泌能・インスリン感受性	8	治療:薬物療法:インスリン療法 (1)	
9	糖代謝関連検査	9	治療:薬物療法:インスリン療法 (2)	
10	1型糖尿病総論 (1): 病態生理	10	治療:薬物療法:インスリン療法 (3)	
11	1型糖尿病総論 (2): 検査	11	糖尿病関連の最新のトピックス	
12	2型糖尿病総論 (1): 病態生理	12	脂質異常症総論:病態生理	
13	2型糖尿病総論 (2): 検査	13	脂質異常症各論 (1): 診断・検査	
14	糖尿病各論 (1): 急性合併症	14	脂質異常症各論 (2): 治療	
15	糖尿病各論 (2): 慢性合併症総論	15	脂質異常症各論 (3): 治療	

2026 年度講義シラバス (3)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	臨床糖尿病学 I		必修/選択	必修
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	糖尿病合併症全般の理解を深める。			
講義計画	糖尿病合併症の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1. 個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床糖尿病学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	細小血管障害の病態 (1): 網膜症	1	糖尿病ケトアシドーシスの概念	
2	細小血管障害の病態 (2): 腎症	2	疫学	
3	細小血管障害の病態 (3): 腎症	3	病態生理 (1): 脱水と高浸透圧	
4	細小血管障害の病態 (4): 神経障害	4	病態生理 (2): ケトン体産生	
5	細小血管障害の病態 (5): 神経障害	5	診断・検査	
6	診断と治療	6	治療	
7	大血管障害の病態 (1): 脳梗塞	7	高浸透圧性高血糖の概念	
8	大血管障害の病態 (2): 脳梗塞	8	診断・検査	
9	大血管障害の病態 (3): 心血管合併症	9	治療	
10	大血管障害の病態 (4): 心血管合併症	10	乳酸アシドーシスの概念	
11	大血管障害の病態 (5): 末梢血管障害	11	病態生理	
12	大血管障害の病態 (6): 末梢血管障害	12	診断・検査	
13	診断と治療	13	治療	
14	前期のまとめ (1)	14	低血糖総論	
15	前期のまとめ (2)	15	診断・検査・治療	

2026 年度講義シラバス (4)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床糖尿病学Ⅱ		必修/選択	必修	
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	2単位 (前期 1、後期1)	履修年次	2年		
テーマと目的	糖尿病合併症について病態、診断、治療を学ぶ				
講義計画	糖尿病合併症1;高血圧、糖尿病腎症の病態、診断、治療を学ぶ。				
達成目標	1. 疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床糖尿病学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	糖尿病腎症の概念		1	糖尿病と高血圧症	
2	糖尿病腎症の疫学		2	高血圧症の病態	
3	腎症の診断・病期分類		3	治療(1):ACE 阻害薬	
4	微量アルブミンの管理		4	治療(2):ARB	
5	心腎連関の概念		5	治療(3):カルシウム拮抗薬	
6	治療総論		6	糖尿病と妊娠総論	
7	治療(1): 食事管理		7	疫学	
8	治療(2): 血糖管理		8	病態	
9	治療(3): 血圧管理		9	診断・検査	
10	降圧薬: ARB 他		10	治療	
11	腎症のリミッション、レグレッション		11	症例検討(1)	
12	末期腎不全の管理		12	症例検討(2)	
13	ネフローゼ症候群の管理		13	症例検討(3)	
14	症例検討(1)		14	症例検討(4)	
15	症例検討(2)		15	まとめ	

2026 年度講義シラバス (5)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	臨床糖尿病学Ⅲ		必修/選択	必修
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期 1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	糖尿病合併症について病態、診断、治療を学ぶ。			
講義計画	糖尿病合併症2;糖尿病網膜症の病態、診断、治療を学ぶ。 糖尿病合併症3;糖尿病神経障害の病態、診断、治療を学ぶ。			
達成目標	1. 疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床糖尿病学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容	(出席Ⓞ)	後期(回)	内 容 (出席Ⓞ)
1	糖尿病網膜症の病態		1	症例検討 (1)
2	糖尿病網膜症の疫学		2	症例検討 (2)
3	網膜症の診断・病期分類		3	症例検討 (3)
4	糖尿病網膜症の管理		4	症例検討 (4)
5	糖尿病神経障害の病態		5	症例検討 (5)
6	糖尿病神経障害の疫学		6	症例検討 (6)
7	神経障害の診断・病期分類		7	症例検討 (7)
8	糖尿病神経障害の管理		8	症例検討 (8)
9	症例検討 (1)		9	症例検討 (9)
10	症例検討 (2)		10	症例検討 (10)
11	症例検討 (3)		11	症例検討 (11)
12	症例検討 (4)		12	症例検討 (12)
13	症例検討 (5)		13	症例検討 (13)
14	前期のまとめ (1)		14	後期のまとめ (1)
15	前期のまとめ (2)		15	後期のまとめ (2)

2026 年度講義シラバス（6）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	内分泌学		必修/選択	必修	
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	1単位（後期1）	履修年次	2年		
テーマと目的	ホルモン作用と代謝調節の理解を深める。				
講義計画	症例を通して病態を検討し、ホルモン作用と代謝調節機構を説明する。				
達成目標	1. 基本的な内分泌メカニズムを論理的に説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	内分泌学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1			1	内分泌学総論	
2			2	ホルモンの分泌調節	
3			3	Feedback 機構	
4			4	ホルモンと受容体	
5			5	負荷試験 (1)	
6			6	負荷試験 (2)	
7			7	負荷試験 (3)	
8			8	内分泌疾患総論	
9			9	内分泌疾患各論	
10			10	多発性内分泌腫瘍の概念	
11			11	MEN I 型 (Wermer 症候群)	
12			12	MEN II A 型 (Sipple 症候群)	
13			13	MEN II B 型	
14			14	後期のまとめ (1)	
15			15	後期のまとめ (2)	

2026 年度講義シラバス (7)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	臨床代謝学特論		必修/選択	必修
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	骨格筋と肝臓における糖代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1. 糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2. 文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床代謝学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	臓器別内科の最新知識 (1)	1	臓器別内科の最新知識 (16)	
2	臓器別内科の最新知識 (2)	2	臓器別内科の最新知識 (17)	
3	臓器別内科の最新知識 (3)	3	臓器別内科の最新知識 (18)	
4	臓器別内科の最新知識 (4)	4	臓器別内科の最新知識 (19)	
5	臓器別内科の最新知識 (5)	5	臓器別内科の最新知識 (20)	
6	臓器別内科の最新知識 (6)	6	臓器別内科の最新知識 (21)	
7	臓器別内科の最新知識 (7)	7	臓器別内科の最新知識 (22)	
8	臓器別内科の最新知識 (8)	8	臓器別内科の最新知識 (23)	
9	臓器別内科の最新知識 (9)	9	臓器別内科の最新知識 (24)	
10	臓器別内科の最新知識 (10)	10	臓器別内科の最新知識 (25)	
11	臓器別内科の最新知識 (11)	11	臓器別内科の最新知識 (26)	
12	臓器別内科の最新知識 (12)	12	臓器別内科の最新知識 (27)	
13	臓器別内科の最新知識 (13)	13	臓器別内科の最新知識 (28)	
14	臓器別内科の最新知識 (14)	14	臓器別内科の最新知識 (29)	
15	臓器別内科の最新知識 (15)	15	臓器別内科の最新知識 (30)	

2026 年度講義シラバス（8）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床内分泌学 I		必修/選択	必修	
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	2単位（前期1、後期1）	履修年次	1年		
テーマと目的	副腎疾患について理解を深める。				
講義計画	副腎疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。				
達成目標	1. 個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床内分泌学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	副腎の解剖		1	症例検討 (1)	
2	ステロイドホルモンの合成		2	症例検討 (2)	
3	副腎皮質ステロイドの分泌		3	症例検討 (3)	
4	副腎皮質ステロイドの作用		4	症例検討 (4)	
5	Cushing 症候群 総論		5	症例検討 (5)	
6	Cushing 症候群 症状・検査		6	症例検討 (6)	
7	Cushing 症候群 治療		7	症例検討 (7)	
8	Aldosteronism 総論		8	症例検討 (8)	
9	Aldosteronism 症状・検査		9	症例検討 (9)	
10	Aldosteronism 治療		10	症例検討 (10)	
11	副腎皮質機能低下症 総論		11	症例検討 (11)	
12	副腎皮質機能低下症 症状・検査		12	症例検討 (12)	
13	副腎皮質機能低下症 治療		13	症例検討 (13)	
14	副腎髄質総論		14	後期のまとめ (1)	
15	褐色細胞腫		15	後期のまとめ (2)	

2026 年度講義シラバス (9)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	臨床内分泌学Ⅱ		必修/選択	必修
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期1、後期1)	履修年次	1年	
テーマと目的	下垂体疾患について理解を深める。			
講義計画	下垂体疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1. 個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床内分泌学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	下垂体前葉ホルモン総論	1	症例検討 (1)	
2	視床下部ホルモン総論	2	症例検討 (2)	
3	末端肥大症の概念	3	症例検討 (3)	
4	末端肥大症の症状・検査・治療	4	症例検討 (4)	
5	下垂体機能低下症の概念	5	症例検討 (5)	
6	下垂体機能低下症の症状・検査・治療	6	症例検討 (6)	
7	成長ホルモン分泌不全症の概念	7	症例検討 (7)	
8	成長ホルモン分泌不全症の検査・治療	8	症例検討 (8)	
9	無月経・乳汁分泌症候群の概念	9	症例検討 (9)	
10	乳汁分泌症候群の症状・検査・治療	10	症例検討 (10)	
11	下垂体後葉ホルモン総論	11	症例検討 (11)	
12	尿崩症の概念	12	症例検討 (12)	
13	尿崩症症状・検査・治療	13	症例検討 (13)	
14	SIADH の概念	14	後期のまとめ (1)	
15	SIADH 症状・検査・治療	15	後期のまとめ (2)	

2026 年度講義シラバス（10）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床内分泌学Ⅲ		必修/選択	必修	
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	2単位（前期1、後期1）	履修年次	1年		
テーマと目的	甲状腺疾患について理解を深める。				
講義計画	甲状腺疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。				
達成目標	1. 個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床内分泌学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	甲状腺の解剖		1	症例検討 (1)	
2	甲状腺ホルモン		2	症例検討 (2)	
3	甲状腺機能検査		3	症例検討 (3)	
4	甲状腺機能亢進症総論		4	症例検討 (4)	
5	Basedow 病		5	症例検討 (5)	
6	そのほかの甲状腺機能亢進症		6	症例検討 (6)	
7	治療		7	症例検討 (7)	
8	甲状腺機能低下症総論		8	症例検討 (8)	
9	症状・検査		9	症例検討 (9)	
10	治療		10	症例検討 (10)	
11	甲状腺炎総論		11	症例検討 (11)	
12	甲状腺腫総論 (腺腫・腺腫様甲状腺腫)		12	症例検討 (12)	
13	甲状腺悪性腫瘍総論		13	症例検討 (13)	
14	前期のまとめ (1)		14	後期のまとめ (1)	
15	前期のまとめ (2)		15	後期のまとめ (2)	

2026 年度講義シラバス (1 1)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床代謝実習 I		必修/選択	必修	
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	1単位 (前期・後期)	履修年次	2年		
テーマと目的	グルコースクランプ法によるインスリン感受性の評価				
講義計画	グルコースクランプ法を理解し、糖代謝を習熟する。				
達成目標	1. グルコースクランプ法を理解する。 2. クランプ法より得られたデータをもとに病態を説明できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。 1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床代謝学の診断と治療の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講 義 内 容					
前期(回)	内 容	(出席Ⓜ)	後期(回)	内 容	(出席Ⓜ)
1	臨床演習 I		1	臨床演習 I	
2	臨床演習 I		2	臨床演習 I	
3	臨床演習 I		3	臨床演習 I	
4	臨床演習 I		4	臨床演習 I	
5	臨床演習 I		5	臨床演習 I	
6	臨床演習 I		6	臨床演習 I	
7	臨床演習 I		7	臨床演習 I	
8	臨床演習 I		8	臨床演習 I	
9	臨床演習 I		9	臨床演習 I	
10	臨床演習 I		10	臨床演習 I	
11	臨床演習 I		11	臨床演習 I	
12	臨床演習 I		12	臨床演習 I	
13	臨床演習 I		13	臨床演習 I	
14	臨床演習 I		14	臨床演習 I	
15	臨床演習 I		15	臨床演習 I	

2026 年度講義シラバス（12）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学		
講義題目	臨床代謝実習Ⅱ		必修/選択	必修	
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149		
単位数	1単位（前期・後期）	履修年次	2年		
テーマと目的	CGMS(連続血糖測定システム)による血糖変動の評価				
講義計画	CGM の原理と評価法を理解する。				
達成目標	1. CGMS より病態を説明できる。 2. 血糖変動に基づいた治療計画を作成できる。				
教科書・参考書	別途指示する				
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
卒業認定・学位授与の方針との関連性	臨床代謝学の診断と治療の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する				
講義内容					
前期(回)	内 容	(出席◎)	後期(回)	内 容	(出席◎)
1	臨床演習Ⅱ		1	臨床演習Ⅱ	
2	臨床演習Ⅱ		2	臨床演習Ⅱ	
3	臨床演習Ⅱ		3	臨床演習Ⅱ	
4	臨床演習Ⅱ		4	臨床演習Ⅱ	
5	臨床演習Ⅱ		5	臨床演習Ⅱ	
6	臨床演習Ⅱ		6	臨床演習Ⅱ	
7	臨床演習Ⅱ		7	臨床演習Ⅱ	
8	臨床演習Ⅱ		8	臨床演習Ⅱ	
9	臨床演習Ⅱ		9	臨床演習Ⅱ	
10	臨床演習Ⅱ		10	臨床演習Ⅱ	
11	臨床演習Ⅱ		11	臨床演習Ⅱ	
12	臨床演習Ⅱ		12	臨床演習Ⅱ	
13	臨床演習Ⅱ		13	臨床演習Ⅱ	
14	臨床演習Ⅱ		14	臨床演習Ⅱ	
15	臨床演習Ⅱ		15	臨床演習Ⅱ	

2026 年度講義シラバス（13）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	最新糖尿病学 1		必修/選択	選択
担当教員	曾根 正勝	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位（前期1、後期1）	履修年次	2年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく糖・脂質代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1. 糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2. 文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	最新の糖尿病に関する知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	臓器別内科の最新知識 (1)	1	臓器別内科の最新知識 (16)	
2	臓器別内科の最新知識 (2)	2	臓器別内科の最新知識 (17)	
3	臓器別内科の最新知識 (3)	3	臓器別内科の最新知識 (18)	
4	臓器別内科の最新知識 (4)	4	臓器別内科の最新知識 (19)	
5	臓器別内科の最新知識 (5)	5	臓器別内科の最新知識 (20)	
6	臓器別内科の最新知識 (6)	6	臓器別内科の最新知識 (21)	
7	臓器別内科の最新知識 (7)	7	臓器別内科の最新知識 (22)	
8	臓器別内科の最新知識 (8)	8	臓器別内科の最新知識 (23)	
9	臓器別内科の最新知識 (9)	9	臓器別内科の最新知識 (24)	
10	臓器別内科の最新知識 (10)	10	臓器別内科の最新知識 (25)	
11	臓器別内科の最新知識 (11)	11	臓器別内科の最新知識 (26)	
12	臓器別内科の最新知識 (12)	12	臓器別内科の最新知識 (27)	
13	臓器別内科の最新知識 (13)	13	臓器別内科の最新知識 (28)	
14	臓器別内科の最新知識 (14)	14	臓器別内科の最新知識 (29)	
15	臓器別内科の最新知識 (15)	15	臓器別内科の最新知識 (30)	

2026 年度講義シラバス (1 4)

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	最新糖尿病学 2		必修/選択	選択
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位 (前期1、後期1)	履修年次	2年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく糖・脂質代謝について学ぶ。			
講義計画	主要関連英文誌に掲載された糖・脂質代謝に関する原著、総説を輪読し、議論する。			
達成目標	1. 糖尿病に関する最新の知識を習得する。 2. 文献を基礎にした病態解明の理論の構築ができる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1 時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	最新の糖尿病に関する知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講 義 内 容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	臓器別内科の最新知識 (1)	1	臓器別内科の最新知識 (16)	
2	臓器別内科の最新知識 (2)	2	臓器別内科の最新知識 (17)	
3	臓器別内科の最新知識 (3)	3	臓器別内科の最新知識 (18)	
4	臓器別内科の最新知識 (4)	4	臓器別内科の最新知識 (19)	
5	臓器別内科の最新知識 (5)	5	臓器別内科の最新知識 (20)	
6	臓器別内科の最新知識 (6)	6	臓器別内科の最新知識 (21)	
7	臓器別内科の最新知識 (7)	7	臓器別内科の最新知識 (22)	
8	臓器別内科の最新知識 (8)	8	臓器別内科の最新知識 (23)	
9	臓器別内科の最新知識 (9)	9	臓器別内科の最新知識 (24)	
10	臓器別内科の最新知識 (10)	10	臓器別内科の最新知識 (25)	
11	臓器別内科の最新知識 (11)	11	臓器別内科の最新知識 (26)	
12	臓器別内科の最新知識 (12)	12	臓器別内科の最新知識 (27)	
13	臓器別内科の最新知識 (13)	13	臓器別内科の最新知識 (28)	
14	臓器別内科の最新知識 (14)	14	臓器別内科の最新知識 (29)	
15	臓器別内科の最新知識 (15)	15	臓器別内科の最新知識 (30)	

2026 年度講義シラバス（15）

講義コード	※	専攻分野	代謝・内分泌内科学	
講義題目	最新内分泌学		必修/選択	選択
担当教員	横田 健一	担当教員連絡先	内線 3149	
単位数	2単位（前期1、後期1）	履修年次	1年	
テーマと目的	最新の疫学調査に基づく内分泌学について学ぶ。			
講義計画	内分泌疾患の最新の知識を整理し、診断治療のアプローチについて理解する。			
達成目標	1. 個々の疾患の概念、病態を説明できる。 2. 病態に基づいた診断・治療計画を作成できる。			
教科書・参考書	別途指示する			
準備学習(予習・復習・時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に参考資料を良く読んでおくこと。1時間 ・ 配付資料の内容を確認しておくこと。 			
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性	最新の内分泌に関する知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する			
講義内容				
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)	
1	臓器別内科の最新知識 (1)	1	臓器別内科の最新知識 (16)	
2	臓器別内科の最新知識 (2)	2	臓器別内科の最新知識 (17)	
3	臓器別内科の最新知識 (3)	3	臓器別内科の最新知識 (18)	
4	臓器別内科の最新知識 (4)	4	臓器別内科の最新知識 (19)	
5	臓器別内科の最新知識 (5)	5	臓器別内科の最新知識 (20)	
6	臓器別内科の最新知識 (6)	6	臓器別内科の最新知識 (21)	
7	臓器別内科の最新知識 (7)	7	臓器別内科の最新知識 (22)	
8	臓器別内科の最新知識 (8)	8	臓器別内科の最新知識 (23)	
9	臓器別内科の最新知識 (9)	9	臓器別内科の最新知識 (24)	
10	臓器別内科の最新知識 (10)	10	臓器別内科の最新知識 (25)	
11	臓器別内科の最新知識 (11)	11	臓器別内科の最新知識 (26)	
12	臓器別内科の最新知識 (12)	12	臓器別内科の最新知識 (27)	
13	臓器別内科の最新知識 (13)	13	臓器別内科の最新知識 (28)	
14	臓器別内科の最新知識 (14)	14	臓器別内科の最新知識 (29)	
15	臓器別内科の最新知識 (15)	15	臓器別内科の最新知識 (30)	